

令和3年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校 第6学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	基礎的な言語事項の習得 ・5年で学んだ語彙を正しく使うこと ・物語の流れを理解すること 聞き取る力の育成 ・聞き取った内容や要旨をとらえながら読む	・日常的に書いたり聞いたりする活動を行い、既習の言葉を積極的に使わせる。 ・登場人物の気持ちや心情を読み取る活動を積極的に取り入れる。 ・読む活動をより多く取り入れる。	
社会	資料の活用能力の育成 ・資料を読み取り、その特徴や変化を捉え、それを記述すること ・出てきた資料やグラフについて、調べたり、考えたりすること	・資料をもとに図や文章などで表現し説明することができるようにする。 ・資料について、より深く考えられるよう友達と話し合う活動を取り入れる。	
算数	基礎学力の定着 数学的な考え方の育成 ・自分の考えや根拠をもとに論理的に説明したり、記述したりすること	・既習内容を活用し、自ら考えたりお互いの考えを共有したりする時間を設ける。 ・考えが伝わるように、言葉や図を使って相手に分かるように順を追って説明する活動を行う。	
理科	・結果から考察を考える態度の育成 ・友達と対話しながら考えを深める力の育成	・結果と考察の違いが分かるようにモデルを示しながら理解できるようにする。 ・自分の考えをしっかりとさせてから話し合いをするようにする。	
音楽	・曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって表現をするための技能の育成 ・曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて理解し、曲全体を味わって聴く能力の育成	・どのように演奏したりしたいか思いや意図をもたせるような言葉かけをする。 ・様々な楽器を取り入れ、学習形態を工夫し、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて合わせる技能を高める。 ・感じ取った曲想などを基にしながら、それを生み出している音楽の構造に目をむけさせる。	
図画工作	・道具や材料などの扱い方を習得し、用途に応じて自分なりに使い分けられる力の育成 ・テーマを理解して、自分なりの発想で表現を工夫しようとする力の育成	・つくるものを自分で設計する題材を取り入れる。自分の作りたいものに合わせ、道具や材料を使うようにする。 ・様々な発想の作品を鑑賞する時間をとる。表現を工夫する為の情報交換の時間もとるようにする。	
家庭	・家庭生活に必要な基礎的知識、技能の習得とその活用力の育成	・学習したことを家庭で実践できるように、児童の生活実態と関連した課題の出し方やワークシートを工夫する。	
体育	・体幹を使い、工夫して体を動かす力の育成	・コーディネーショントレーニングを取り入れながら体幹を意識できるように活動を工夫する。	
外国語	・時と場合に応じた表現の活用力の育成	・表現の方法を考えさせながら、外国語を使うようにさせる。	
道徳	・自身の経験に沿った話し合い	・自身の振り返りができるように、時間を多く取ってワークシートに書くようにさせる。	
総合的な学習の時間	・課題を設定し、自ら解決する方法を見つけ、追究する力の育成	・課題解決の方法をいくつか与え、選べるようにする。	